

飼料米の作付け面積については、令和6年約264ヘクタールから令和7年は約136ヘクタールと大きく減少していることから、主食米への転換が進んでいることが確認できている。来年度もこの傾向の継続が想定される。このため本市における主食米は現状の需要に応じて増えている。



**問** 国内スーパーに並ぶ輸入米5点の残留農薬の自主検査でベトナム産、台湾産などから国内未認可を含む残留農薬が検出された。厚労省は流通上の問題はないと言うが、ベトナム産で検出された殺虫成分・殺菌成分は国内では認められてない。米の輸入の場合、

国家貿易なら残留農薬検査を義務付けているが、民間貿易の検査義務はない。国産米高騰を受けて輸入米が増えている。市民への影響について問う。

**答** 国では輸入食品に対して食品衛生法に基づき基準値を超えるものは一切国内流通しない仕組みである。

**問** 地域農業は多くの関連の作業があり地域・社会・食の安全・伝統文化・治水機能・祭りも運命共同体だ。根本は生産が需要を下回っている結果だ。米農家の未来はあるか問う。

**答** 集落を支えてきたコミュニティの仕組みが弱る危機感を持つている。人が減っていく中でこれまでと同じ面積、農地を守っていくには経営規模の拡大が必要になってくる。大規模農家、小規模農家が営農を続けられる環境づくりに取り組んでいる。

## 新型コロナウイルス 関連について

**問** 最近、体調不良・肩が痛

い・倦怠感・元気な方が急に死亡する等以前はあまり見かけられなかった光景が多発している。ワクチンを推した結果がこのようは状況を招いているとしたら当市も少なからず責任があるのではないか。市町村は予防接種法施行令に基づき、予防接種台帳を作り5年間保存するとある。mRNAワクチンは人類初の遺伝子ワクチンで今後どのような影響が出るか不明だ。保存期間について問う。

**答** 予防接種事務のデジタル化に伴い、接種本人の死亡後5年に延長が提案されており、関係省令が進められている。また、本市においては予防接種台帳の保存年限は、接種後30年と定めて保存を行っている。

## 議会報告会の開催について

報告会の内容は、初めに議会の報告を行い、その後、皆さんとの意見交換会の時間とする予定です。

皆さんの貴重なご意見をお伺いいたしたく、多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

日時 2月25日(水)  
18時～  
場所 ・山北集会所(1班)  
・神有集会所(2班)

### 【班構成】

(1班)	(2班)
高倉 真弓	東 新
浦尻 学典	小谷 翔太
堀 景	井上 将
三木 健正	川村 圭一
川村三千代	今城 隆
松浦 英夫	川田 栄子
寺田 公一	野々下昌文

また、10月7日には沖の島地区、鵜来島地区で開催し、2カ所で14名の方々にご参加いただきました。

報告会では、議会の活動実績、6、9月議会の議案の主な内容、議員の一般質問についてなどを説明させていただきました。参加いただいた皆さんと意見交換を行わせていただきました。

意見交換では議会や行政に対することのほか、地域の実情・課題などについて、様々な声を聞かせていただきました。

皆様からのご意見やご提言は議員一同、今後の議会活動に生かしていく所存でありますので、今後ともご指導ご鞭

撻のほどよろしくお願いいたします。



## 議員定数の検討について

宿毛市議会では、宿毛市議会基本条例に基づき、当該任期中に次期の任期の議員定数等について、検証を行うこととしており、このほど議会の果たすべき役割を踏まえ、類似団体や県内他市との比較調査も踏まえ、検討を行った結果、現状維持(14人)とすることといたしました。